

講義名	財務会計論 (マーケティング学科)			授業形態	
担当教員	島田 奈美	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

会計には、企業の外部の利害関係者（株主、取引先、消費者など）に対して情報を提供する財務会計分野と、内部の利害関係者（経営者）に対して情報を提供する管理会計分野がありますが、本授業では前者について学習します。財務会計は、財務諸表（貸借対照表や損益計算書）を通じて、外部の人々に企業活動を忠実に開示する役割を主に果たしてきましたが、現在では会計（制度）の変化が企業活動自体に変化をもたらしているということも事実です。そこで本講義では、単に財務会計の基礎知識を学習するだけではなく、新聞やニュースで取り上げられた会計に関する記事をもとに、会計制度の変化が企業経営に与える影響を解説・確認することを通じて財務会計の基礎を身に付けていきます。本講義では、まず、財務会計の学習に必要な基礎知識として、簿記の基本的な部分の学習を通じて、財務諸表の仕組みや計算構造を確認します。次に、これらを定める会計制度の理論的背景を学習したうえで、会計制度の変化が企業経営に与える影響について確認し、会計が社会で果たす役割を学んでいきます。

到達目標

- (1) 簿記の知識の習得をできるようにする。
- (2) 財務会計の基礎知識の習得をできるようにする。
- (3) 新聞記事やニュースで取り上げられる会計関連記事を読み、理解できるようにする。

提出課題

- 講義内容の理解度を確保するため、次の課題を課します。
- ミニレポートを毎度毎回実施
 - 中間試験(または課題)を1回実施
- 課題の実施方法については、講義中の指示に従ってください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

中間試験（または課題）および毎回のミニレポートを実施した後、解説を行います。課題については、実施後に評価ポイントを中心に解説します。

評価の基準

- ・中間試験または課題（30％）：講義内容の理解度を確保するための総合問題
 - ・毎回のミニレポート（30％）：毎回の授業内容の理解度を確保するための個別問題。
 - ・期末試験（40％）：講義内容の理解度を確保するための総合問題
- 以上を総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

- <注意>
- ・講義資料は、講義中に配布します。欠席者等への対応としてキャンパスクロスへもアップしますが講義の進捗の関係で遅れることがあります。

- <助言>
- ・専門用語や概念的説明が多く、理解しづらい内容となっています。関心が持てる内容かどうかを確認するために、事前に「企業会計入門」を履修することを強くお勧めします。
 - ・概念的説明をより具体的に理解するために、簿記のテクニック（仕訳、転記）を使って説明をします。したがって、「基礎簿記」、「商業簿記」を履修済みあるいは履修中であること、あるいは、日商簿記検定3級の知識があることが望ましいでしょう。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.財務会計講義[第26版]	桜井久勝	中央経済社	4290	978450253911

その他

テキストを使用しません。講義資料を配布します。

授業計画

1. 会計の意義と領域
予習内容：シラバスの確認。これまで受講した簿記・会計関連科目に関する資料やノートの整理。(120分)
復習内容：講義資料を復習し、授業内容の理解を深める。(120分)
2. 財務会計の機能
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
3. 企業会計の法規制(1)：制度会計、会社法による会計
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
4. 企業会計の法規制(2)：金融商品取引法、法人税法
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
5. 簿記の基本(1)：複式簿記の構造
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
6. 簿記の基本(2)：損益計算書、貸借対照表
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
7. 簿記の基本(3)：株主資本等計算書、キャッシュ・フロー計算書
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
8. 簿記の基本(3)：利益計算と財務諸表
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
9. 1から8までの講義のまとめ
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
10. 会計理論と会計ルール
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
11. 企業会計原則(1)：真実性の原則、正規の簿記の原則、明瞭性の原則、継続性の原則
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
12. 企業会計原則(2)：保守主義の原則、資本・利益区分の原則、単一性の原則、重要性の原則
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
13. 利益測定の基本概念
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
14. 資産測定の基本概念
予習内容：事前に提示する講義資料の中で、理解が難しそうな部分を確認しておく。(120分)
復習内容：講義内容を整理・復習し、理解を深める。講義課題に取り組み。(120分)
15. 10から14までの講義のまとめ及び期末課題の説明

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

目標(1)～(3)を達成することで、以下のディプロマポリシーの達成に貢献します。

マーケティング学科
(1)：マーケティング動向、流通業界及び関連業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる

ブランド戦略コース
(2)：企業のマーケティング活動やその仕組み、役割、ブランド構築の意味を理解し、変化する消費者を的確に捉え、これに対応することができるとして、企業や組織のリーダーに求められる、具体的な改善策や解決策の提案ができる。
流通ビジネスコース
(3)：社会システムとしての流通の動態や仕組み、役割を理解し、これからの流通の姿を構想することができる。
(3)：小売業の社会的意義や日本経済における重要性について深い関心や理解をもち、それをもとに社会で活躍することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

キャンパスクロスを使って資料・課題の配布・回収を行います。

実務経験の有無及び活用

備考